

晴海西小学校第二校舎建設工事設計業務委託 技術提案書作成要領（補足資料）

技術提案書の作成をするにあたり、「テーマⅡ」及び「テーマⅢ」のテーマ説明について、課題に対する提案書作成のポイントをより明確にするため、以下の通り、詳細を追加いたしますのでご確認ください。

テーマⅡ：区が目指す学校施設の設計と条件を実現するための手法

区教育委員会事務局では、今までの改築計画での反省点を生かし、教育の平等性を担保し、用途ごとに求められる機能や設備を明確にすることが重要であると考え、標準的な基本仕様を整理しました。

今回、その中から晴海西小学校第二校舎の建設における基礎的な情報を精査し、各室等の計画において重要と考える内容を抜粋した「重点事項説明」と、必要な諸室を一覧にし、計画において留意すべき内容を付記した「基本仕様一覧」とを設計と条件として作成しました。（以下、二点をまとめて「重点事項説明等」という）

「重点事項説明等」は室単位の機能を整理しているため、全体計画を検討する際、各室が求める全ての仕様を設計に反映することに矛盾や困難が生じる場合があります。以上を踏まえて設計と条件の理解や把握、実現に向けた取り組み姿勢等についての考え方を提案してください。

テーマⅢ：低学年専用となる学校施設に関する計画上の配慮・工夫

本来、小学校では「こころ」と「からだ」が大きく成長する6歳から12歳までの6年間を同じ施設で過ごしますが、本計画は小学校低学年のみが通う校舎の計画となります。小学校低学年は高学年と比較して、教科学習よりも体験型の学習が多いこと、人体寸法・動作寸法が小さいこと、低学年ならではの幼児期的な行動特性を持っていることなどの特徴があります。そこで、小学校低学年の特徴を的確に把握した上で、低学年専用の校舎であることを優位に活かした設計が求められます。

また、全校児童1,000人近い大規模校であり、低学年のみで形成する集団の規模としては極めて大きいと言えます。学校生活に不慣れな児童が、学校に親しみを持ち安心して過ごせる場所となるために、施設の明確なコンセプトが必要です。

さらに、事故防止のためのきめ細かい安全対策や健康を推進するための設備の充実など設計上の工夫が強く求められています。